

令和4年度 一般会計決算の概要

1 令和4年度一般会計決算のポイント

新型コロナウイルス感染症対策のために、3年連続で1兆円超の決算規模

- ・新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策については、国庫支出金等の財源を最大限確保し、府民の安心・安全を確保するための対策、京都産業への支援や府民生活を守るための対策を実施（約3,290億円）。
- ・新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策を除くと、歳出は約8,658億円で、文化庁移転施設整備や社会保障関係経費は増となる一方、臨時的な府債管理基金の積立金減などにより約548億円減となった。

歳入は約8,819億円で、地方交付税及び臨時財政対策債の減などにより約526億円減となった。

➡ 新型コロナ対策関連国庫支出金の影響（下表 H、I）を除くと、単年度収支は6億円台の黒字となった。今後も社会経済情勢の先行きが不透明なことから、原油価格・物価高騰等による府民生活や事業活動への影響を注視していく必要。

令和4年度一般会計決算収支

（単位：百万円、%）

	令和4年度	令和3年度	増減額	対前年度比	
歳入総額 A	1,210,875	1,356,661	▲145,786	89.3	
歳出総額 B	1,194,804	1,342,848	▲148,044	89.0	
形式収支 C=A-B	16,071	13,813	2,258	116.3	
翌年度に繰り越すべき財源 D	3,975	3,399	576	116.9	
実質収支 E=C-D	12,096	10,414	1,682	116.2	
前年度実質収支 F	10,414	15,478	▲5,064	67.3	
単年度収支 G=E-F	1,682	▲5,064	6,746	-	
コロナ影響除き単年度収支	665	617	48	107.8	
G-(H-I)	うち翌年度国庫返還 H	9,075	8,058	1,017	112.6
	うち過年度国庫返還 I	8,058	13,739	▲5,681	58.7

2 令和4年度の主な取組みと成果

(1) 文化庁移転や「あたたかい京都づくり」の実現に向けた施策の展開

明治以来初となる中央省庁の移転に向けた施策の展開

- ・新行政棟建設及び旧京都府警察本部本館の改修工事を行い、令和4年12月28日に竣工し、令和5年3月27日から文化庁業務開始（総事業費：約91.7億円（R4決算約57.7億円））
- ・文化庁移転の機運醸成を図るため、「伝統文化の夢舞台」（参加者1,441人）など、文化庁と連携し、オール京都体制で京都中を文化で彩る取組を展開



子育てにやさしく誰もが温もりを感じられる京都の実現に向けた取組

- ・子育てにやさしい風土づくりのため、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」を展開
- ・両親の育休計画等、府独自項目を盛り込んだ京都府版母子健康手帳「親子健康手帳」の作成



「京都サンガF.C. × WEラブ赤ちゃんプロジェクト」



夢（ゆめ）や希望にあふれる魅力と活力の京都の創造に向けた取組

- ・アートとテクノロジーの融合により新たな産業を創造するオープンイノベーション拠点「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」の整備（令和5年10月開設予定）
- ・安定した航海能力や最新の調査機器を備えた海洋調査船「平安丸」の建造（総事業費：約12.9億円（R4決算約11.1億円））



(次頁あり)

(2) 府域の均衡ある発展に向けた基盤整備の着実な進展

J R奈良線第二期複線化

(令和5年3月開業)

- ・ J R奈良線の複線化により、列車の行き違い待ち解消による所要時間の短縮や運行ダイヤの安定性向上、運行間隔の均等化、列車増発等が実現

(総事業費：約 148.5 億円 (R4 決算約 33.2 億円))



京都縦貫自動車道の移管

(令和5年4月移管、新料金へ移行)

- ・ 京都縦貫自動車道(宮津天橋立IC～丹波IC)の京都府道路公社からNEXCO西日本への移管に関する協定を締結



道路や河川の着実な整備

- ・ バイパス整備や道路拡幅により、地域産業の発展が促進されるとともに、自動車の走行性や歩行者の安全性、災害時における緊急輸送道路としての信頼性が向上
- ・ 大規模な浸水、土砂災害等に備えた総合的な防災・減災対策を実施



にしだおおやぶ
国道477号 西田大藪道路(南丹市)
令和5年3月供用開始

(総事業費：約 31.2 億円 (R4 決算約 1.9 億円))

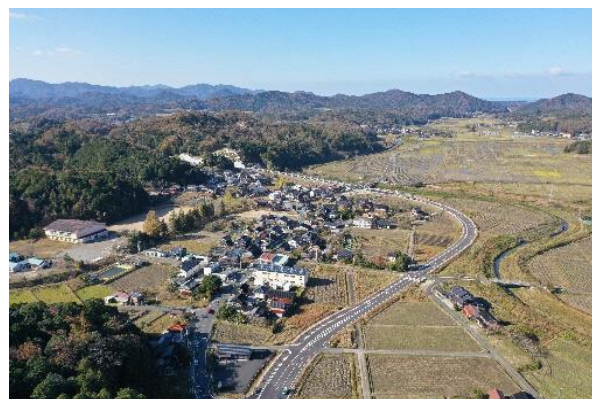


かみきたたにかわ
上北谷川 砂防事業(福知山市)
令和5年度工事完了予定



きつ
国道178号 木津道路(京丹後市)
令和4年10月供用開始

(総事業費：約 18.2 億円 (R4 決算約 4.9 億円))



のなか
国道312号 野中バイパス(京丹後市)
令和4年11月供用開始

(総事業費：約 10.0 億円 (R4 決算約 4.0 億円))

【主な取組みと成果】

▶新型コロナウイルス感染症対策等

3,290 億円

(1) 府民の安心・安全を確保するための対策

1,147 億円

- ・入院患者受入のための病床確保や機器整備の支援 [約 538 億円]
- ・軽症者等が滞在療養するための宿泊療養施設の整備・運営 [約 94 億円]
- ・パルスオキシメーター・食料品等の配布など自宅療養者への生活支援等 [約 49 億円]

(2) 京都産業への支援や府民生活を守るための対策

2,143 億円

- ・原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者等を支援 [約 104 億円]
- ・ゼロゼロ融資等の中小企業融資制度のための預託及び利子補給 [約 1,566 億円]
- ・旅行割引やクーポン券発行など、全国旅行支援を実施 [約 228 億円]
- ・生活福祉資金の貸付原資の積み増し [約 88 億円]

▶明治以来初となる中央省庁の移転へ向けた施策

- ・文化庁移転施設及び新行政棟が竣工 令和5年3月27日から文化庁業務開始
- ・文化庁移転の機運醸成を図るため、「伝統文化の夢舞台」など、文化庁と連携し、オール京都体制で京都中を文化で彩る取組を展開 「伝統文化の夢舞台」参加者数 1,441人

▶「あたたかい京都づくり」の実現に向けた施策の展開

(1) 府民の命と健康を守り抜く安心の京都の構築に向けた取組

- ・妊産婦モニタリングシステムの導入等、医療機関の連携強化により安心・安全に分娩できる体制を構築
12の医療機関でシステム導入
- ・医療的ケア児や家族等に対する相談支援を行う、医療的ケア児等支援センター「ことのわ」を開設
令和4年4月25日開設 相談件数延べ71件
- ・災害対応機能を集約した常設の危機管理センター整備に着手 令和5年度稼働予定
- ・大規模な浸水、土砂災害等に備えた総合的な防災・減災対策 約190億円規模

(2) 子育てにやさしく誰もが温もりを感じられる京都の実現に向けた取組

- ・スポーツ観戦を通じた婚活イベント「スポーツ婚」の実施など、婚活支援を強化 イベント開催数5回
- ・保険適用外となる先進医療も助成対象に含めるなど、不妊治療における府独自の負担軽減制度を拡充
治療費助成件数 3,953件
- ・子育てにやさしい風土づくりのため、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」を展開
- ・両親の育休計画等、府独自の項目を盛り込んだ京都版母子健康手帳「親子健康手帳」を作成
- ・京都府デジタル学習支援センターの設置や府立高校生1人1台タブレット端末購入支援など ICT教育を推進
タブレット端末購入支援者数 10,200人
- ・兄弟姉妹が府内高校に在学する場合の、私立高校生に対する就学支援を拡充 支援者数 5,343人

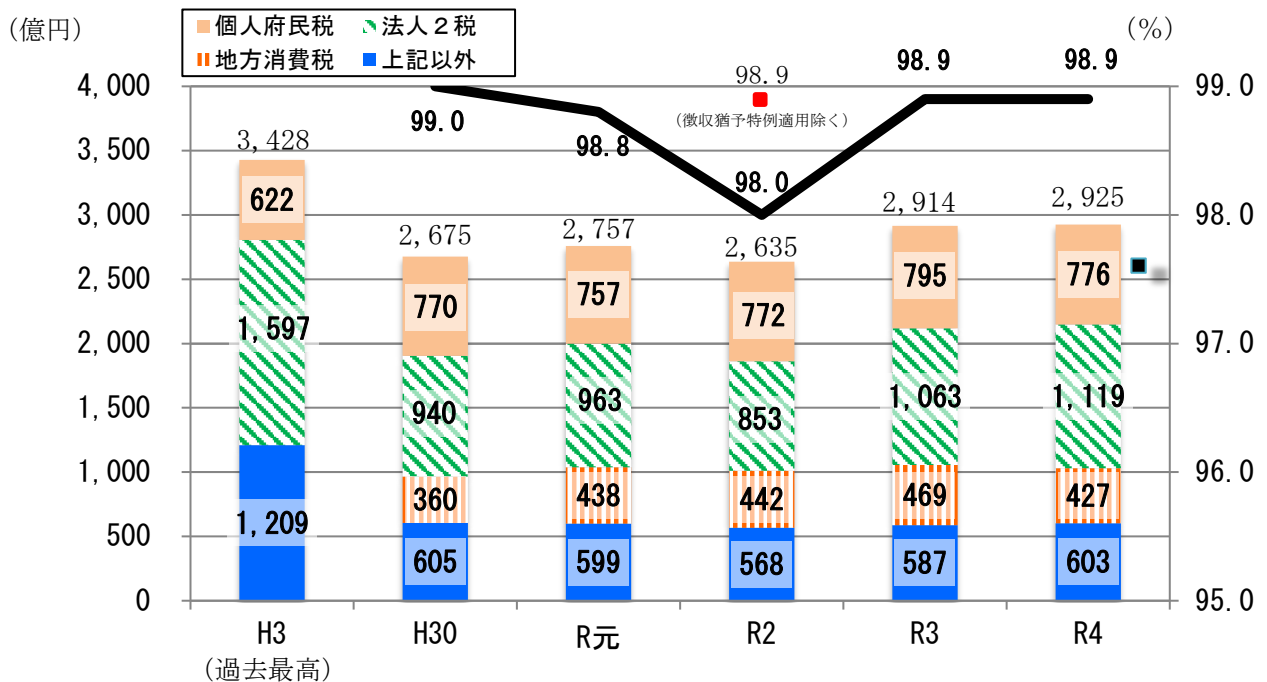
(3) 夢(ゆめ)や希望にあふれる魅力と活力の京都の創造に向けた取組

- ・アートとテクノロジーの融合により新たな産業を創造するオープンイノベーション拠点
「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」の整備に着手 令和5年10月開設予定
- ・オール京都体制によりリカレント教育の推進に取組むため、京都府リカレント教育推進機構を設立
令和4年7月28日設立 参画団体数54団体
- ・「京都食ビジネスプラットフォーム」の伴走支援等により、「京もの」の海外販路拡大等の取組を支援
府内産農林水産物・加工品の輸出額 25.6億円(目標(15億円)) 達成率170%
- ・「全国お茶まつり京都」を開催 9年ぶりに京都府で開催

(次頁あり)

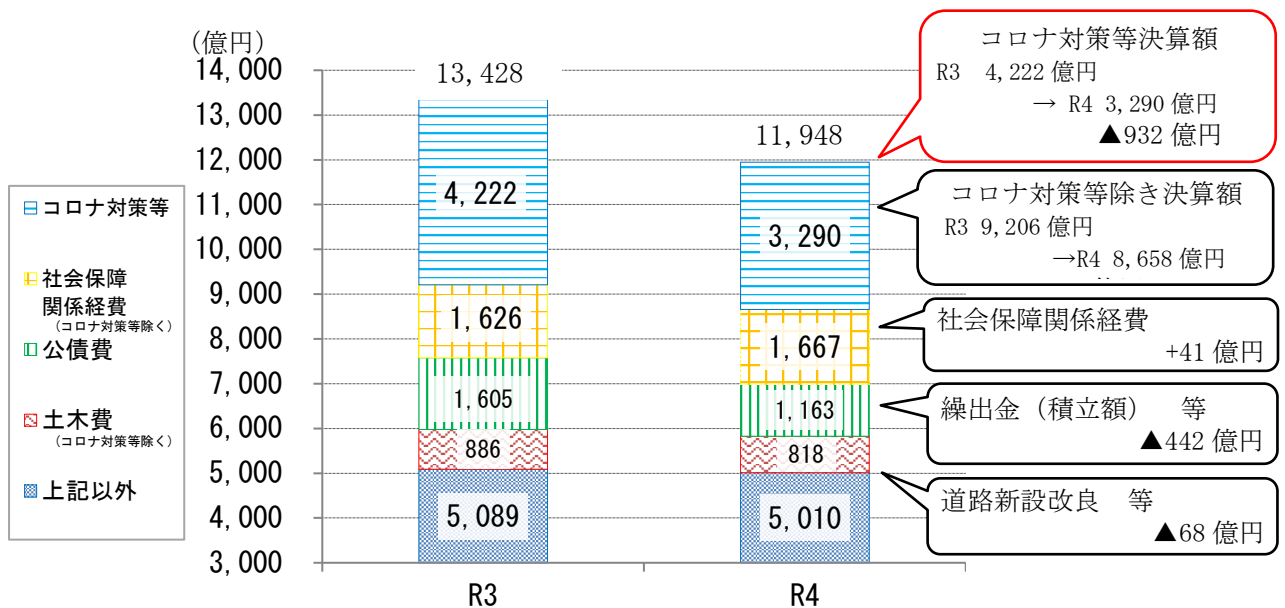
3 府税決算の状況

- ▶ 企業業績の回復を維持し、法人2税は約56億円の増収となったが、地方消費税は約42億円の減収となり、総額は約11億円増の約2,925億円。
- ▶ 府税徴収率は、98.9%となった。



4 歳出決算の状況

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策は、府民の安心・安全を確保するための対策（約1,147億円）、京都産業への支援や府民生活を守るための対策（約2,143億円）を実施し、約3,290億円となった。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策を除いた決算額は約8,658億円で、約548億円減少。
- ▶ 社会保障関係経費は、医療費の増等により約41億円の増加。



5 府債残高の状況

- ▶ 府債残高は、前年度から258億円減少

府債残高

R3末 2兆3,864億円 → R4末 2兆3,606億円

府民1人当たり府債残高

R3末 943千円 → R4末 940千円

臨時財政対策債除く府債残高

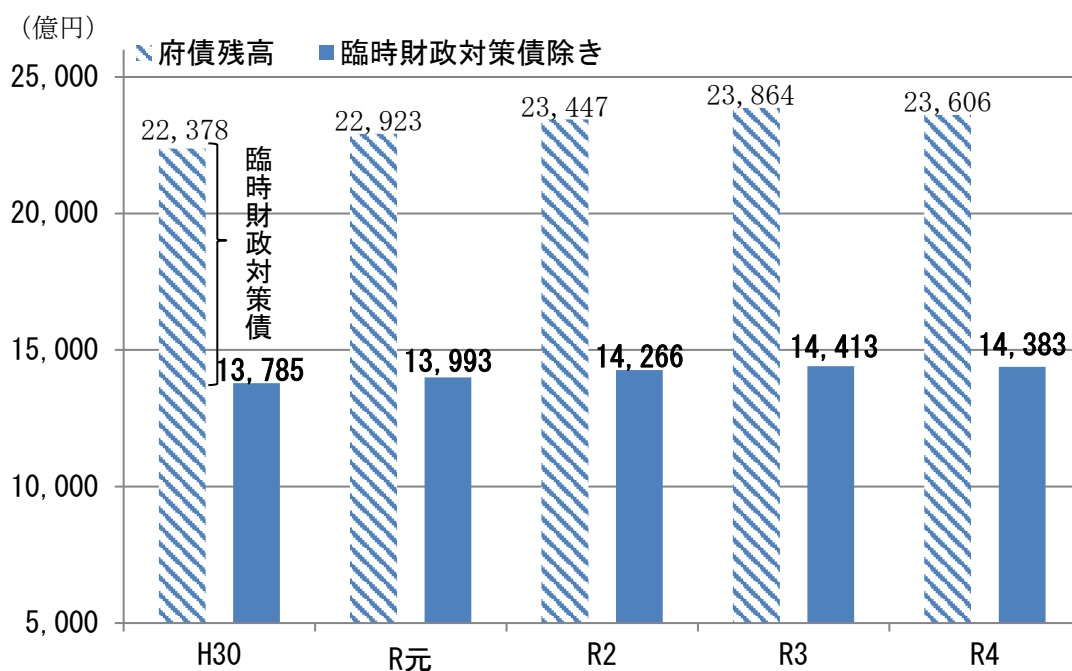
R3末 1兆4,413億円 → R4末 1兆4,383億円^{※1}

※1 残高が減少するのは、平成22年度以来12年ぶり

臨時財政対策債除く府民1人当たり府債残高

R3末 570千円 → R4末 573千円^{※2}

※2 人口減少により増



【本報道発表に関するお問合せ】

総務部財政課 課長 松浦 電話 075-414-4410

